

## 回 覧

### 壺分町東自治会 平成26年度 第1回 日曜セミナーのご案内

今から50年前の昭和39年10月1日、東海道新幹線が東京・新大阪間で開業しました。

更に遡ること大正3年4月30日、近鉄奈良線（上本町・奈良間）が開業して、今年は100周年にあたります。その歴史の中で、生駒トンネルの工事はかなりの難工事であったことが語り継がれています。生駒駅前もすっかり様変わりしましたが、眼を閉じれば当時の様子を思い起こされる方もあることでしょう。

そこで、今回の「日曜セミナー」は、近畿日本鉄道社史の編纂にも関わられた講師をお招きして、近鉄奈良線の歴史とともに、「生駒」発展のドラマをお話いただこうと考えています。皆様のご来場をお待ちしております。

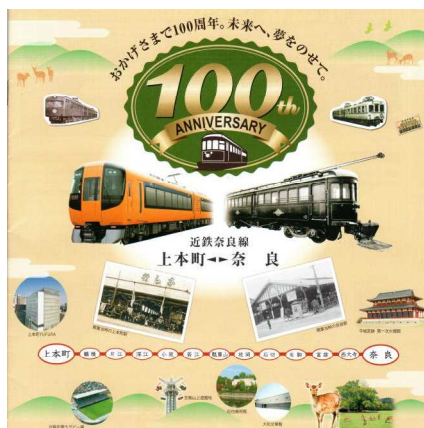
日時 平成26年11月16日（日）13：30～15：00

場所 壺分町東自治会館1階ホール

講題 「生駒山に挑むー近鉄奈良線の100年」

講師 奈良大学 教授（博士（文学）、交通地理学他）

三木理史氏



#### 講演要旨

近畿日本鉄道（近鉄）の母体となる大阪電気軌道（大軌）の創業路線は、1914年に開業した上本町・奈良間の奈良線です。大阪と奈良を最短経路で結ぶため生駒山に挑むことから始まった奈良線と生駒山の歴史は、トンネル掘削の難工事、宝山寺参道の門前町形成、さらには高度経済成長期の新生駒トンネル開通など、多くのドラマを生みだしてきました。奈良線が開通して100年を迎えるにあたり、その一端を振り返ってみたいと思います。（三木）